

令和2年12月18日

COVID-19 透析患者の新規感染者数急増に対する対策へのご協力のお願い

日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会
新型コロナウイルス感染対策合同委員会

委員長 菊地 勘
副委員長 山川 智之
副委員長 竜崎 崇和
副委員長 南学 正臣

平素より当会の運営にご協力いただきありがとうございます。

COVID-19 の第3波が始まり1か月以上が経過しました。

11月20日から12月18日までの、全国のCOVID-19透析患者数は、335人から475人(新規感染者数140人)に増加、特にこの1週間の新規感染者数は49人であり、非常に急速な感染者の増加を認めています(表)。

すでに主要都市を中心に、全国のCOVID-19透析患者の入院ベッドは満床に近い状況で、予断を許さない状況です。現在、COVID-19透析患者は入院加療という原則が崩れつつあり、合同委員会では非常に危惧しております。

まず、維持透析施設におかれましては、すでに十分な感染対策を行っていることと思いますが、患者指導を含む更なる感染対策の徹底をお願いいたします。特にこの流行期においては、患者および医療従事者ともに、不要不急の会食や旅行などを控えるようお願いいたします。

また、すでに入院ベッドが満床に近い状況ですので、COVID-19透析患者の入院管理を行っている病院が退院可能と判断した場合、維持透析施設においては速やかな受け入れをお願いいたします。退院がスムーズに進まなければ入院患者が滞り、結果として新たな患者の受け入れができず、維持透析施設で感染患者の透析を数回はお願いすることになります。すでにそのような状況に近いことを十分にご理解の上、スムーズな退院の受け入れをよろしくお願いいたします。

なお、これまでの東京都における入院調整の経験では、退院可能と判断されたCOVID-19透析患者が原因となった、維持透析施設でのCOVID-19透析患者発生の事例はありません。

何卒、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

表 COVID-19 透析患者数の推移

日付	11月20日	11月27日	12月4日	12月11日	12月18日
人数	335	363	388	426	475